

第8部会

主体的な生き方を探求する子どもの道徳学習をつくる —「仕組み」×「仕掛け」から子どもの探求心をくすぐる—

企画者： 幸阪 創平（東京学芸大学附属竹早小学校）
司会者： 和井内 良樹（宇都宮大学）
報告者： 佐藤 淳一（東京都町田市立相原小学校）
箱崎 由衣（東京都港区立筈小学校）
久我 隆一（東京都調布市立上ノ原小学校）
古見 豪基（埼玉県和光市立第四小学校）
指定討論者：永田 繁雄（東京学芸大学）
浅部 航太（東京学芸大学）

【企画趣旨】

私たちはこれまで、「どのようにして主体的な生き方を探求する子どもの道徳学習をつくることができるのか」という問いを基軸に、第102回宮崎大会、第103回石川大会、第104回静岡大会のラウンドテーブルに取り組み、それぞれの機会、「カリキュラム・デザイン」「教師の子どもへの関わりや立ち位置」「発問構成」「教材の選定・吟味」「問いづくり」といった多様な視点から、実践授業をもとに議論を重ねてきた。

しかし、これらの視点は授業の中でそれぞれが独立して機能するのではなく、相互に関係し合いながら、子どもの探求心を揺さぶり、学びを動的に構成していると考えられる。

そこで本ラウンドテーブルでは、こうした多様な視点を「仕組み（構造や機能）」と「仕掛け（機能を発揮させるための工夫）」という枠組みで整理する。そして、それらの掛け合わせがいかにして子どもの主体的な生き方の探求を促す道徳学習を生み出しているのかについて、ダイナミックに検討することを目的とする。

また、単なる技法論にとどまらず、「なぜ今、主体的な生き方を育む道徳学習が求められるのか」という根本的な問いにも立ち返りながら、授業づくりの本質に迫る議論を展開したい。現場実践のリアルと理論的考察が交差する本企画を通して、参会者の皆様と共に、新たな道徳教育の地平を切り拓く機会としたい。

【報告者・報告要旨】

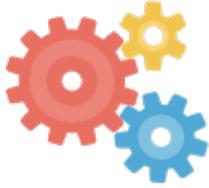
佐藤会員は「生き方を考える仕組みと仕掛けによって、主体的に学ぶ児童の育成を目指して」〈低学年〉と題し、生活に結びつく教材を活用しながら、学びの主体性を促すための「仕組み」と「仕掛け」について提案する。問題解決的な学習過程、発問の工夫、教材の吟味などの教師の仕掛けによって、子どもが主体的に学ぶ実践を報告する。

箱崎会員は「道徳科授業づくりの仕組みと仕掛けで、主体的な生き方を探求する授業を拓く」〈低学年〉と題し、子どもが自己の生き方を主体的に見つめ続ける力を育む「仕組み」として、「AARサイクル」を道徳授業に導入した実践を提案する。また、そのサイクルを効果的に機能させるための「仕掛け」について、実践の具体を通して報告する。

久我会員は「道徳科授業づくりにおける仕組みと仕掛けについての一考察—教科教育の視点から—」〈高学年〉と題し、事前に把握する各教科の文化的内容を「仕組み」、子どもの実態に応じたアプローチを「仕掛け」として、子どもが道徳的価値に当事者意識をもてるように構想した、教科等との関連を図った実践を提案する。

古見会員は「子どもの主体性を育む道徳学習における教師の『仕組み』と『仕掛け』のシナジーを図る —『福祉問題』を軸に—」〈中学年〉と題し、道徳的な善さを基軸に据えたカリキュラム・デザインを「仕組み」、学びを日常の実践へと結びつけ、子どもの内面的な自覚を深める工夫を「仕掛け」として捉える教科等横断的な実践を提案する。

以上の報告を通して、子どもが主体的な生き方を探求する道徳学習のあり方を「仕組み」と「仕掛け」という視点から多角的に議論し、次世代の道徳授業を展望する。



プログラム

1. 基調提案

「主体的な生き方を探求する子どもの道德学習をつくる
—「仕組み」×「仕掛け」から子どもの探求心をくすぐる— (幸阪)

- なぜ今、主体的な生き方を探求する子どもの道德学習なのか
- 本テーマの問題の所在と目的
- 「仕組み」と「仕掛け」とは

2. 実践報告

(1) 生き方を考える仕組みと仕掛けによって、主体的に学ぶ児童の育成を目指して (佐藤)

- 主体的な学びから生き方を探求する学びへ
- 道德学習における「仕組み」と「仕掛け」とは
- 主体的な学びは子どもから学び，子どもと学び，子どもが学ぶ

(2) 道德科授業づくりの仕組みと仕掛けで、主体的な生き方を探求する授業を拓く (箱崎)

- 道德科における「主体的」をどう捉えるか
- 仕組み：「AARサイクル」を道德科の授業にどのように位置づけるか
- 仕掛け：「すっきり」に向かう心の持ち方に注目した授業づくり

(3) 道德科授業づくりにおける
仕組みと仕掛けについての一考察—教科教育の視点から— (久我)

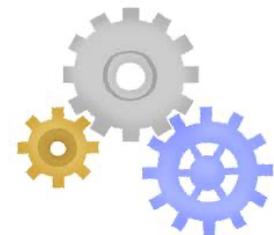
- 「教育内容」「教科内容」「教材内容」の3つの捉えと「仕組み」の捉え
- 各教科の視点から捉える道德科の教科内容
- 実践例から考える教師の「仕掛け」の具体

(4) 子どもの主体性を育む道德学習における
教師の「仕組み」と「仕掛け」のシナジーを図る —「福祉問題」を軸に— (古見)

- 道德教育・道德科における探究学習の意義について
- カリキュラム・デザインにおける「仕組み」づくりについて
- 道德科の学びと人をつなぐ教師の「仕掛け」づくりについて

3. 討論

- 指定討論者(浅部)からの論題提示
- 参会者との質疑，応答
- 議論の総括(永田)



4. まとめ

- 主体的な生き方を探求する子どもの道德学習のあり方と次世代の道德授業の展望